

中秋明月祭 大阪2014 開催にあたって

実行委員会実行委員長 胡 士雲



中秋節は中国の伝統的な節句で、そこに受け継がれた精神は長い年月にわたり中国人の心を潤してきました。「海上生明月，天涯共此時（海上 明月を生じ、天涯 此の時を共にす）」「但願人長久，千里共嬋娟（但だ願はくは 人 長久にして、千里 嬋娟を共にせんことを）」などの名句を口ずさめば、中空にかかる明月が天下を照らす美しい光景を思い浮かべ、家族の団欒や楽しく打ち解けた肉親の情を実感し、また尽きせぬ郷愁も月光に託して故郷の親族に届けられます。

一年一度中秋月，永盼今夕勝旧年（一年一度の中秋の月、永く今夕の旧年に勝るを盼〈ねが〉う）。また新たに中秋節を迎えるに当たり、「中秋明月祭 大阪 2014」の準備作業も幕を開けました。

「中秋明月祭」は、関西在住の華僑華人団体と日中友好団体との共催による大型の野外イベントです。このイベント開催の目的は、「共建和諧，團結友好（ともに調和を成し、團結して友好を築く）」であります。より具体的には、イベントを通して、以下のことを目指しています。第一に、在日華僑華人の團結を図り、中華文化を伝承して、ともに調和のある華僑華人社会を作ること。第二に、華僑華人と地元の日本人との交流を深め、地域社会に溶けこみ、地域社会の一員として日本の発展に力を尽くすこと。第三に、中日の民間レベルでの友好関係を着実に推進し、両国の架け橋として中日友好に貢献することです。「国之交在于民相親，民相親在于心相通」（国の交わりは民の相親しむに在り、民の相親しむは心の相通するに在り）というように、民間の友好関係はたいへん重要です。イベントの開始以来、私たちはこの理念を終始一貫してきました。とりわけ中日の友好的な交流の濫觴である「史跡 難波宮跡」を開催地とすることは、さらに特別な意義があると思います。今年は、「中国と日本 — 更なる友好の輪を広げよう」をメインテーマとし、「上海大阪友好都市提携40周年」および「東日本大震災被災地復興支援」サブテーマとして、一連の活動を通じ、低迷する中日関係に活力をもたらしたいと願っています。

私たちは、これまでの成功を基礎に、さらに力を尽くして、この「中秋明月祭」を、関西の華僑華人が中心となり、地域の皆さんが積極的に参加する名物イベントにしたいと思います。みんなの努力によって、この目標は必ず達成できる、私はそう確信いたします。

このイベントの開催には、中日両国の各界そして地元の皆様から多大な暖かいご支援を頂きました。実行委員会を代表し、深く感謝申し上げます。また、これまで同様、「中秋明月祭 2014」に対し、引き続きご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

「中秋明月祭 大阪 2014」へのご来場、そしてご参加を、心よりお待ちしております。